

# 目標到達度評価

流山市役所健康福祉部介護支援課

令和5年5月25日

## 理念

医療や介護が必要になっても住み慣れた地域で安心・安全に自分らしく生活ができる。希望すれば、最期は自宅で亡くなる事ができる。

## 目標

在宅療養者を人生の最期まで支える24時間365日緊急対応可能な医療と介護の連携システムの構築を図る。

## 短期目標

### 1－① 医療・介護の専門職の顔の見える関係作りの体制を構築する

達成度：達成

### 1－② 医療・介護の専門職の知識・技術が向上する

達成度：未達成（施設看取りは達成）

【状況】施設看取りは研修も重ね、目標達成。入退院多職種連携やACP普及啓発、認知症の意思決定支援（重度の認知症になっても地域で暮らしている方）は継続の必要あり

## 短期目標

### 1－③ 医療・介護の専門職がスムーズに情報共有できる

達成度：未達成

【状況】安全でタイムリーな情報共有の運用に至っておらず、未達成

### 1－④ 医療・介護の専門職が支援に対する不安を払拭できる

達成度：未達成（施設看取りは目標達成）

【状況】急変時の対応やキーパーソンがいない、意思決定が難しいなどの困難事例ケース、多職種連携、ACPの普及啓発、在宅看取りについては不安が残るため、未達成。

予測のつく施設看取りは対応方法や連携が浸透し、不安を払拭できていると評価。

# 短期目標

## 2－① 市民が在宅療養について理解する

達成度：未達成

### 【状況】

流山市高齢者支援計画第8期集計で「ご自身の人生の最期はどこで迎えた  
いか」の質問では「自宅」が55.3%であるにも関わらず、実際に最期を迎え  
える場所は「病院」が72.8%の現状がある。在宅療養について市民の理解は  
課題が残るため未達成。

## 2－② 施設での看取りを増やす

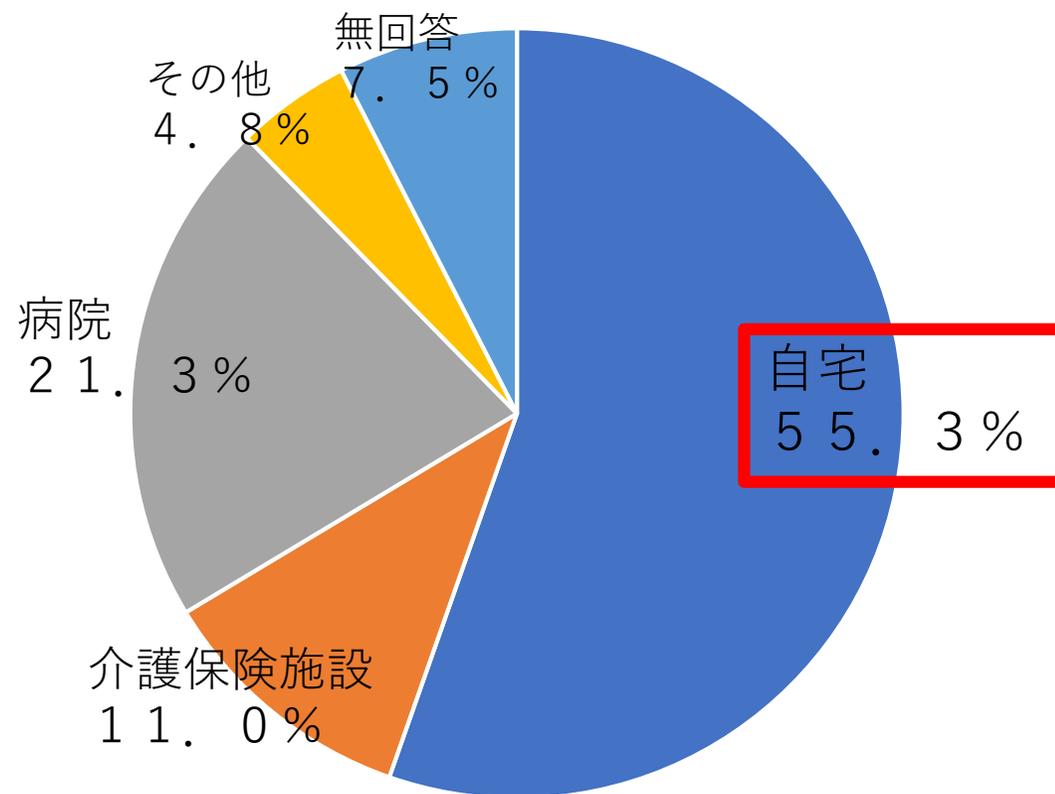
達成度：達成

### 【状況】

看取り対応している施設（20施設）に対し、医師をどのように確保し看取りの体制を整え  
ているかを電話で確認。19施設で看取りの体制は構築でき、困りごとはないと回答得られ  
たため、施設看取りは達成できていると評価し目標達成。

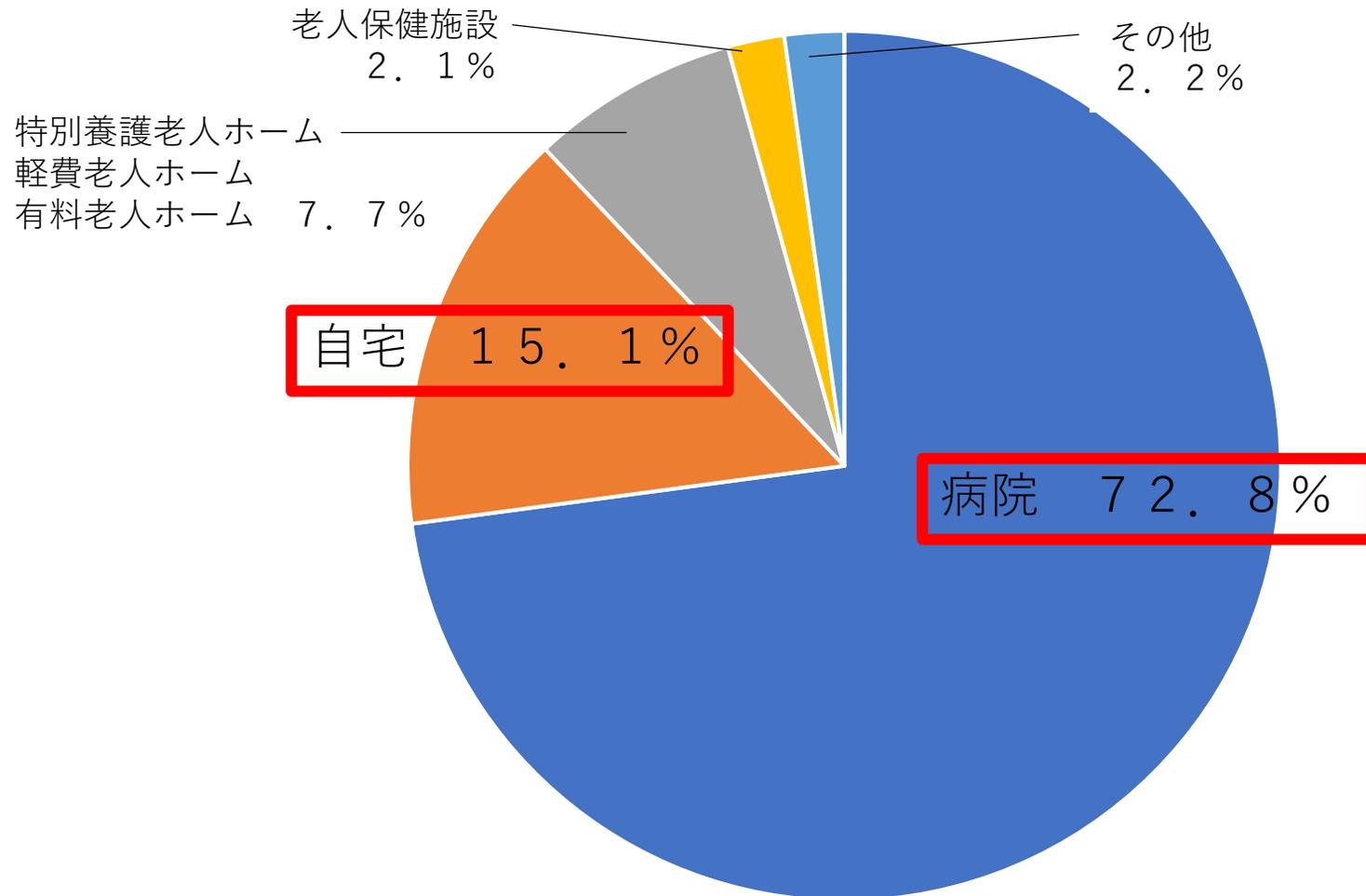
（1施設は看取り経験なし、1施設は開所当時に医師確保が困難だったと回答あったが、  
現在は看取り実施している）

# 人生の最期をどこで迎えたいですか



流山市高齢者支援計画 第8期・令和3年度～令和5年度  
高齢者等実態調査より

# 流山市内に住所があった方の死亡場所（令和元年）



## 短期目標

### 3－① 切れ目のない円滑な入退院支援の体制を構築する

達成度：未達成

#### 【状況】

入院すると在宅の情報が足りず、退院すれば病院の情報が不足している。関係者間で、本人の現状や在宅での生活における課題が共有されにくい。適切な手段で連携がなされておらず、安全でタイムリーな情報共有ができていないため、未達成。

## 1 地域全体で在宅療養を支える体制を組めるようにする

達成度：**未達成**

- 【状況】
- ・医療・介護の専門職の顔の見える関係づくりの構築  
⇒つむぐ会の開催において達成
  - ・医療・介護の専門職の知識・技術の向上  
⇒施設看取りに関しては研修、VR体験等で達成  
**在宅看取りに関して、症例検討を行っているが、不十分**

## 1 地域全体で在宅療養を支える体制を組めるようにする

達成度：**未達成**

- 【状況】
- ・ 医療・介護の専門職がスムーズに情報共有できる  
⇒ 専門職の連携、情報の取り方、それぞれに必要な情報がつかめていない
  - ・ 医療・介護の専門職が支援に対する不安を払拭する  
⇒ 在宅療養中の予測のついた急変等についてはほぼ達成  
予測のつかない急変、困難事例等に関して、情報共有、体制づくりが不十分

## 2 在宅・施設での看取りを増やす

<施設での看取り>

達成度：**達成**

【状況】・市内介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設、認知症対応型共同生活介護事業所に状況確認し、施設看取りについて連携病院と提携しており現状で困っていることはないとの返答得られた（20施設中19施設より困りごとないと返答）

⇒ **今後は、在宅看取りに力を入れていく**

## 2 在宅・施設での看取りを増やす

<在宅での看取り>

達成度：**未達成**

【状況】・市民が在宅療養について理解する

⇒相談先に関する情報、ACPの普及が課題

## 3 病院・施設・在宅の連携を深める

達成度：**未達成**

【状況】 ・切れ目のない円滑な入退院支援の体制を構築する

⇒情報共有システムの活用が進まない  
医療側、介護側に必要な入退院時情報の把握がタイムリーにできていない